

喜界町

図書館だより

7月号



【通算 第241号】
2016（平成28）年7月1日発行

〒891-6201
喜界町大字赤連字樋口前30番地
TEL：0997-65-0962
FAX：0997-65-2523
e-mail:kikailib@town.kikai.jp

ブックスタート
図書館からの
プレゼント！
（コトソンバツグ・絵本）



赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆつくり
心ふれあうひとときを持つきっかけづくりの
お手伝い。

★受け取りは0歳児のみ。図書館にて随時受付。

～喜界町図書館では、子どもたちの成長のサポートをしています。～

喜界町図書館は、小学生・中学生の調べ学習やクラス単位、学校単位での団体貸出、図書館訪問受け入れ等、保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校と連携を取りながら、子どもたちの成長のサポートをしています。

先月、5月10日には「のぞみ幼稚園」園児12名と保護者・先生方15名が来館。また、喜界中学校「タイダ学級」生徒6名と引率の先生。6月1日には「あゆみ幼稚園」年少組36名と引率の先生方5名。喜界小学校2年い組26名、ろ組27名と引率の先生。と、毎月のように、保育所・幼稚園・小学生が学年・組毎に利用しています。また、6月9日には、ひまわり第一保育所のぞう組23名、きりん組23名と先生方が来館。絵本コーナーでたくさんさんの絵本の中から好きな本を選んだり、図書館職員の読み聞かせ、ミニ映画などを楽しみました。また、選んだ本を1人ずつカウンターで借りる練習もしました。「お願いします。」「ありがとうございます。」という声。このようなあいさつの繰り返しがいよいよ図書館利用者育てると思います。図書館訪問を通して、図書館を身近に感じることでしょう。先生方のご指導に心からエールをおくりたいと思います。これからのご利用をお待ちしています。

＊ 《土俗を語る島の民謡》喜界島には、昔から歌い続けられている民謡があります。その中から「シミチハヤサガシ（汐道 長浜）：しみちながはま」節の物語を紹介します。

シミチ浜ながし ……塩道の長々と続いている涙を、ぶつ通し、一通りも二通りもする間じゅう童泣ちしゆそう（わらびい なちしゆそう）・・・子どものような大声で泣き叫んでいるのはうりやたるちば 長嶺（ながんみ）盛里（むいさと）・・・それはだれであるかというとき 長嶺の盛里であるけさ松がゆいど ……その理由はけさ松さんのしわざである

けさ松がゆいや あらむ ……いやいやそれはけさ松の仕業ではありませんよ、と強く否定している返し言葉盛里、うら一 肝（ちむ）ぬゆいど・盛里さん、私を恨むでないよ、おまえの考えが足りなかったからだよ、と。

（注釈）： 塩道の長々と続いている涙を、ぶつとうし、一通りも二通りも、童声をたてて泣いているのは、それは誰かと聞くと、長嶺の盛里という男である。何故そんなに泣いているのかと問えば、「それはけさ松のせいだ」といった。その答えに対して、けさ松は、「いや、けさ松のせいじゃない。盛里さん、お前の考えが足りなかったからだよ。自分の考え（心）の足りなさを恨みなさい。」と返している下りが唄われている悲恋な民謡である。この物語の本筋は？次号から紹介します。【参考資料】：『喜界島古今物語』（三井喜禎 著）『広辞苑』（岩波書店）（文責：登山 典壽）

おしらせ

返却期限は、守りましょう！



職場体験学習

喜界中学の3年生の徳幸華さん・山城野乃花さんの2名が、5/25から5/27まで図書館で体験学習をしました。カウンター業務・本の配架・おはなし会の準備・中学生のおすすめの本の展示コーナー作成など一生懸命頑張っていました。お疲れ様でした。



たなばた
おはなし会



日時 平成28年7月22日(土)

14:00～16:00

場所 喜界町図書館2階

14:00～14:15 いざい体操
14:15～15:00 セタのおはなし
セタクイヌ他

★プレゼント

・セタ豆えほん
・たんざく

15:00～16:00

劇場版アニメいが
「それいけ！アンパンマン」
だだんだんとどろ星」

1月30日の特別おはなし会
おはなしの後は、みんなで
ゆるゆるオバケの
おもちゃを作ろう!!



喜界町図書館のホームページの閲覧について

※ 現在、マイナンバー制度の導入によるセキュリティ対策のため、喜界町図書館のホームページが閲覧できない状態になっています。利用者の皆様には、大変不便をおかけしています。申し訳ございません。